

Spa-Trem2 V2 User Manual



各コントロールについて

VOLUME

音量を調節します。

MIX

入力信号とトレモロ信号の割合を調節します。MIX ノブを完全に反時計回りに回すと、クリーンブーストペダルとして使用できます。

RATE

トレモロのスピードをコントロールします。RATE ノブを変更すると、TAPTEMPO スイッチによるスピード設定はキャンセルされます。

PHASE CORRELATION

2つのトレモロ回路間の相対位相を自由に調節できます。このノブの効果はステレオ使用時のみ聞き取れます。このノブを完全に反時計回りに回すと、左右のLEDが同時に点滅し出力が「同位相」であることを示します。両アンプは一体となってモジュレートし、両アンプ間にパンニングエフェクトは発生しません。このノブを完全に時計回りに回すと、LEDは互い違いに点滅し、出力は「位相がずれた」状態になり、3Dのようなステレオ感とオートパンニング効果が生まれます。本当のマジックは、中間の設定を選んだときに起こります！

SQUARE/SINE/WARBLE

以下の3つの波形が選択可能です。
SINE: ナチュラル・トレモロ・サウンド。

SQUARE: ハイゲインアンプでも、あらゆるスピードではっきりとON/OFFする矩形波。

WARBLE: ヴィンテージのユニバイブの波形やヴィンテージのレスリー・ローテティング・スピーカーを分析した、オーガニックでエキサイティングな波形

TAP TEMPO Footswitch

希望のテンポの2拍をタップすることでトレモロのスピードを設定できます。
DOUBLE / HALF SPEED タップ機能: TAP TEMPO フットスイッチを3/4秒押し続けることで、現在の設定スピードを2倍または半分にすることができます。TAP TEMPO スイッチによる変更は、RATE ノブの設定をキャンセルします。

ON/OFF オン/オフを切り替えるスイッチです。

Footswitch

内部トリマー オプトカプラーに流れる電流を調整します。抵抗値を低く設定する（時計回りに回す）ほど、サイクルの静かな部分が強くなり、トレモロがより激しく鳴るようになります。このトリマーは、オプトカプラーの個体差に合わせて出荷段階で最適に設定されています。このトリマーを下げると、矩形波のセッティングがかなり弱くなり、トレモロのサウンドが自然でなくなる恐れがあります。

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された2.1mm x 5.5mm プラグの9 ~ 18VDC センターマイナス電源で動作します。

入出力について

MONO (R) INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子。モノラル入力時でもステレオ出力が可能です。

(L) INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子。ステレオ・アウトを持つ他のエフェクトの後に本機を接続する場合に接続することでペダルのON/OFFに関わらず、ステレオサウンドを維持することができます。

MONO (R) OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

MONO (L) OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子ステレオ入力を持つ他のエフェクトに接続する場合、またはアンプにステレオを接続する場合に使用します。

注意: 複数のアンプを使用し、マイクやPAシステムを同時に使用する場合、すべての機器を適切にアースする知識がないと大変危険です。ステレオセットアップを試す前に、十分な知識をもって上でご使用ください。

EXT.TAP INPUT 1/4" モノラル標準フォンケーブルを使って外部スイッチからタップテンポ機能を使用する場合に接続します。SPST モメンタリー・ノン・ラッチング・スイッチにのみ対応しています。

Spa-Trem2 V2 について

1998年に発売されたオリジナルのモノラル Supa-Trem 1 は、非常に成功したペダルでした。その素晴らしいサウンドの鍵は、Analog Devices ブランドの JFET オペアンプを心臓部に使用していることにあります。もう一つの要因は、独自のオプトカプラーを使用していることです。このオプトカプラーは、最適な抵抗値範囲と最速の上がり下がりを持ち、低速だけでなくすべてのスピードで豊かなトレモロ・パフォーマンスを可能にします。

2012年、他のペダルのような、単に出力の信号を反転して別の出力に送るだけの偽ステレオではなく私は2つの完全に分離したアナログ・トレモロ回路を一緒にしたらどうなるだろうと考えました。その発想からオリジナルの Supa-Trem2 が誕生しました ... それは、2つの IN と 2つの OUT を持つ別々の同じ回路を装備し、同じ JFET アンプのおかげで、バイパス時のサウンドも美しかった。また、最後に置くのに理想的なデバイスで、長いケーブルでもトーンロスに最小限に留めます。つまり、2台のアンプをスプリットするための理想的なデバイスでした。初期の ST2 の唯一の欠点は、そのサイズでした。ST-2V2 は、初代 ST2 の半分以下のサイズで、全てを兼ね備えています！さらに、より優れたオプトカプラー、新しい "Super Chop " 矩形波モード、外部タッピング端子を搭載し、スタジオやツアー・ラックにも設置できるようになりました。